



人権教育の取組から

1学期にやまなみ学級主任の高橋先生から、昨年に引き続き、1年生に「やまなみ学級を知る」授業を行っていただきました。この授業は①特別支援学級について理解する②人にはいろいろな特性があることを知る、の2つを目的として行なわれた授業です。「特別支援学級と通常学級の違い」「特別支援学級の生徒の頑張り」等を詳しく話していただきました。授業の中で、「通常学級の生徒も特別支援学級の生徒も、同じ目的である「自立」を目指している。そのためにそれぞれの生徒が自分に合った目標に向かって学んでいる。」という話には大変深い感銘を受けました。また、家庭学習・英検・お手伝い等を頑張っている生徒がいることなど、やまなみ学級の生徒がそれぞれ努力をしていることなども紹介してくれました。1年生は、みんな真剣に聞いていて、大変貴重な授業になりました。以下に授業を終えての感想を何点か紹介します。

<生徒の感想>

- 今回の授業で感じたことは、やまなみの生徒は一生懸命努力していると感じました。人にはいろいろな個性があって、長所もあれば短所もある。自分にしかわからない思いがあるんだなと思いました。これからは、やまなみの生徒と一緒に一歩一歩歩けたらいいなと思いました。やまなみの生徒はものすごく頑張っていると思いました。「家のお手伝い」が宿題なんだと聞いてびっくりしました。今日は本当にありがとうございました。
- 私は、今日のお話を聞いて得意なこと、苦手なことが人それぞれあって、みんな違うようでみんな同じなことを知りました。そして、みんな同じ目標ではなくても自分の目標に沿って毎日頑張っているのだと思いました。これからお互いに違っているところをちゃんと知って、共通するところに目を向けながら人と付き合っていきたいです。
- 私は今日の授業で、やまなみ学級の人たちは、確かに少し違うところもあるかもしれないけれど、みんな同じなんだなと思いました。みんな同じように個性があって、温かい心を持っていて。だから、「やまなみだから」と特別な扱いはせず、私たちは、クラスの友達と同じように自然に接することが一番の支援になるのかなと思いました。また、支援学級・通常学級関係なく、他の場面でも差別や偏見などは絶対にしないようにしていきたいです。やまなみの皆さん頑張ってください。私も頑張ります。
- 今日は高橋先生から、特別支援学級のことを詳しく教えていただきました。ありがとうございました。私はあらためて人にはいろいろな個性があるということを再確認しました。集団が苦手で心臓がとてまバクバクしてしまう人がいる。私も同じです。みんな同じなんだなと思いました。だから、もし困っている人がいたら少しでも助けられたらいいなと思いました。特別支援学級の皆さんも、「自立」という目標に向かって毎日、毎日頑張っていてすごいし、なんか勇気をもらえた気がしました。これからも目標に向かってみんなで頑張りましょう。
- 私は今日の授業で、やまなみ学級のことについて学びました。将来自立するために、やまなみの皆さんは、たくさんいろいろなことに取り組んでいるんだなと思いました。「お互いの違いを理解して、共通点に目を向けること。」大事なな、と思います。私も大きな音が苦手だったりするので、とてもよく分かります。人それぞれの特性を理解して、人と接していけばいいなと思いました。また拾ってきた木材であんなのが作れるなんて本当にすごいと思いました。ユニコーンの奴もすごかったです。
- 今日の授業を聞いて分かったことは、特別支援学級と通常学級の人たちは、同じなんだなと思いました。また、人にはいろいろな特性があることも分かりました。私も、周りからは元気だねとか言われますが、本当は集団が嫌いだったり、人とかかわりが苦手だったり、大きな音が嫌いだったりします。そして考えたことは、人は人、自分は自分、つい自分のことを優先にして考えてしまいがちですが、もし友達が困っていたら、友達を優先して行動したいと思いました。今日はお忙しい中、授業をしてくださり、本当にありがとうございました。

1年生の実践「相手に対する思いやり」(自作資料) (内容項目B-10 友情・信頼)

- 今日の授業を受けて、人の気持ちのことがよく分かりました。プラスな声かけや行動をしていきたいなと思いました。もし、そういう子がいたりしたら、声をかけてみたいと思いました。友達と仲良く相手の気持ちを考えて行動したいです。
- 私は今日の授業を通して、1人の子だけではなく全員の気持ちに寄り添っていくことが大事だと思いました。「〇〇はこう思っている」とか決めつけしないで、全員の気落ちを考えて解決できたらいいなと思いました。
- 今日の授業では、相手の気持ちを考えてから言葉にしなくてはいけないことの大切さを学びました。相手のことはその相手にしか分からないことがあるので、私はなるべく相手にその理由を聞いてから言葉を選び、発言できるように意識しながら会話をしたいです。また、正しい判断をして発言できるように頑張りたいです。

2年生の実践 A組<教材名>「ゴール」(新しい道徳 東京書籍2) (内容項目 B-8 友情・信頼)

- 一人でも考え方が悪いと、コミュニケーションをしっかりとるのは難しいと分かった。
- 今日の授業を通して、LINEのやり取りの難しさを実感した。文字では、顔は見えないから特に言葉に気を付けるようにし、自分も相手も傷つけないようにしていきたいです。
- これから友達と会話をしていくうえで、相手はどう感じるかを考えて、言葉を発していきたいと思いました。そして、「親しき中にも礼儀あり」を心掛けて生活していきたいです。
- 今日の授業で、憶測だけで話すことや、LINEをすることというのはダメだということが分かりました。よく考えながら会話をしていきたいです。
- よく言われることだが、やっぱりLINEは怖いなと思いました。スマホは欲しいけれど、LINEには言葉遣いや打つ言葉に気を付けなければいけないなと思いました。LINEで嫌な思いをしている人があまりいないのは意外でした。
- 1つの行動で、誤解が生まれることがありなので、しっかり話すことが大事だと思いました。

3年生の実践 <教材名>「好きな仕事か安定かなやんでいる」(東京書籍 新しい道徳3) (内容項目C-13 勤労)
<A組>

- 自分は趣味をするために安定を選んだが、理想の意見派にも納得できた。だが、安定の意見は揺るがない。
- 自分の将来は自分が決める。進む道は必ず直線の本道とは限らない。曲がって、曲がってその先に本当に自分がなりたかった将来があるのかもしれない。それを徐々に探りながら生きていきたい。
- 年収は大切かもしれないけれど、やっぱり好きなことを仕事にしたいと思う人生の半分くらいが大変と言うよりも好き楽しいと思えるほうが仕事にやりがいがあるから。死ぬ直前に後悔のない人生と思えるような人生を送りたい。
- 自分の夢の「でっかい家を建てる」をするために、収入が安定している会社に入りたい。収入が安定していて、ブラックな会社に入らないために勉強をするというふうにつながっていると思った。

<B組>

- 安定も大事だけど、やっぱり好きな仕事のほうがやりがいがあって続けやすいのかなと思いました。辛いことがあっても好きなことだったら乗り越えられると思います。
- 「好きな仕事」「安定な仕事」のどちらを選んだとしても、朝長先生が言っていたとおりワークライフ・バランスが大切だなと感じました。
- 人生には大きな決断をするときがあることを知った。
- 進路を決めたり、仕事を決めたり、この先の生き方が変わってくるような選択をするときは、もう悩みに悩んで自分が一番納得がいく決断をするのが大事だと思いました。

やまなみ学級の実践 ソーシャルスキルトレーニング「クラスのルールを守るって」

Aさんのクラスには、「給食でおかわりは、12時30分までに全部食べ終わった人がジャンケンに参加できる」というルールがあります。ある日、プリンが余ったので、食べ終わった子が12時30分に配膳台の前に並びました。Aさんはプリンが大好きなので、「おかわりしたいな」と思ったけれど、まだ全部食べ終わっていません。このような時、Aさんはどうしたらいいと思いますか?下の5つから選びましょう。

- ジャンケンをする子たちに「ちょっと待って」という。・食べ終わっていないが、ジャンケンに参加する。
- 食べ終わっている子に「代わりにジャンケンしてきて」と頼む。・ジャンケンする子に「ずるいよ!」と言う。
- 「今日はしょうがない」と思って、お代わりをあきらめる。

(話し合い後)

- やはりルールは守るべき・現在のルールに従って行動するのが良い。・食べ終わってからジャンケンに参加する。・いろいろな人の話を聞いて良かったです。・いろいろな人の意見聞いて共感しました。話し合いが進んでよかった。